設計図書・仕様書等に対する質問・回答書

令和８年１１月５日

入札参加業者　様

三　次　市　長
（財　政　課）

案件番号　：　案件１２２
入札案件名　：　三次市立十日市小・中学校改築工事　建築主体工事

	質問事項	回答
1	地業工事について、基本型として、GL-1300ｍｍが基礎底となり、底部からGL-4000ｍｍまでラップルコンクリートとなっています。 当施工におきまして、下記懸念事項が考えられます。 ①柱状図ではGL-3600mmで地下水があります。水替え施設及び水替え費用は、図面や参考数量に記載はありませんが、ディープウエル等での水替えが必要となります。協議の上となりますが、費用が発生します。 ②同上設置の為、井戸水等への影響が考えられます。 ※井戸を使用されている方もおられます。	地盤改良工法は、地盤調査において砂礫層で孔壁の崩壊大で削孔水は全量逸水の報告があったこと、玉石層が確認できることから、設計においてはラップルコンクリートを採用し、参考数量書のとおり見込んでいます。質問いただいた内容についても考慮する必要があると考えますが、入札にあたっては、公告の図面等に基づき見積りを行ってください。 契約後、地盤改良の施工にあたり、安全性・周辺への影響・工期・経済性を考慮して、提案の工法を含めた検討を行い協議の上で工法を決定します。

	質 問 事 項	回 答
1	③GL-4000ｍｍまで掘削するため、「玉石混じり砂礫」となっており、山留工事が必要となります。山留工事は、図面や参考数量に記載はありませんので、協議の上、山留工事を計上していただかないと、特に「三次市立十日市小学校放課後児童クラブ」が隣接しているので、施工が非常に困難であり、危険を伴います。 ④山留工事の施工として、鋼矢板等を岩盤へ打ち込むため（柱状図から)、クラッシュパイラーでの施工となり７ヶ月程度かかると思われます。又近隣への騒音・振動が発生し影響が大きいと思われます。 以上のことから、地業工事をラップルコンクリートから地盤改良杭に変更できないでしょうか。 地盤改良杭ではGL±0での施工となり、地下水処理が不要となります。工事期間も２ヶ月程度となります。 但し、現状長期許容支持力はラップル時同様の300kN/㎡で計画しておられますが、設計時の荷重条件等設計者との協議必要となります。つまり、変更に伴い構造が変わるため、確認申請の内容が変更となり、設計変更しなければ建築確認がおりない状況となります。つまり、施工時期が遅れ、工期に多大なる影響を及ぼします。 落札決定後に確認申請の変更となれば、施工にも入れず工期が遅れていきますので、現地に即しそして懸念事項を考慮した施工方法への変更を、検討していただけませんか。	

	質 問 事 項	回 答
2	意匠図では、配置図【A-04-01】以外では、渡り廊下２・３の記載はありません。構造図【S-04-12～16】では、渡り廊下２・３・駐輪場の記載があります。参考数量には渡り廊下２・３・駐輪場はございません。渡り廊下２・３・駐輪場は今回の工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	渡り廊下２、渡り廊下３、駐輪場は今回の工事範囲外です。
3	参考数量書の共通仮設費の項目にキャスターゲートの記載がありますが仮囲いの内訳がありません。仮設計画図【A-01-04】には安全鋼板 H2.0m+防塵ﾈｯﾄ H1.0m長さ 85mと記載あります。敷地外周は 450m程度あり現場事務所回りまで必要となると更に 100m程度増えます。仮設計画図に記載ある 85mはどの範囲を示しているかご指示下さい。数量を増やすのであれば変更数量をご指示下さい。	図面番号 A-01-04 の「長さ 85m」は誤記です。仮囲いは、共通仮設費（積上）に「安全鋼板」833mを見込んでいます。
4	仮設計画図【A-01-04】の現場事務所エリアから東側は仮設範囲外となっております。今回の工事期間中の仮囲いは工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。又、東側のキャスターゲートは今回の工事範囲と思われますが、東側ゲートから入って工事車両進入路にある既存のコンクリート塀の撤去は工事範囲外と思われます。仮囲いを含めて今回の工事範囲をご指示下さい。	図面番号 A-01-04 に示すキャスターゲート、安全鋼板、敷鉄板が今回の工事で設置を想定しているものです。 工事車両進入路の支障となる塀等の撤去は今回の工事で施工します。
5	十日市小学校の撤去物におきましては、図面・参考数量には記載があります。但し、十日市中学校の撤去物は、図面には記載がありますが、以下の撤去物が参考数量に未計上となっております。 十日市中学校　解体物撤去 ・鉄棒撤去　鉄棒１基　　１式 ・基礎撤去　土間、基礎解体　１式 協議の上、設計変更の対象としていただけますか	変更の協議対象になります。